

第 2 1 回串間市農業委員会総会

日 時 平成 2 8 年 2 月 2 6 日 午後 3 時

会 場 串間市役所 3 階大会議室

出席委員 2 0 名

1 番 (会長)	川崎 善昭	9 番	日高 善次	1 6 番	島田 俊満
2 番	井手 重則	1 0 番	瀬治山満弘	1 7 番	金川 勇次
3 番	安田 敬司	1 1 番	鈴木 信	1 8 番	福田 孝義
5 番	内田 政秀	1 2 番	渡邊 豊雄	1 9 番	野邊 秀男
		1 3 番	谷口 利則	2 0 番	山下 貴義
7 番	塔尾 秀雄	1 4 番	野邊 俊博	2 1 番	鳴海 正文
8 番	瀬治山秋美	1 5 番	吉田 友子	2 2 番	岩下 哲見

欠席委員 1 名 (6 番 武田 康典)

議事録署名委員 3 番 安田 敬司、 2 2 番 岩下 哲見

議事日程

第 1	報告 (証明返上)	非農地証明書の返上報告について
第 2	報告 (合意解約)	農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について
第 3	議案第 1 2 9 号	農地法第 3 条の規定による許可申請について
第 4	議案第 1 3 0 号	農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について
第 5	議案第 1 3 1 号	農地法第 5 条の規定による許可後の事業計画変更申請について
第 6	議案第 1 3 2 号	農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について
第 7	議案第 1 3 3 号	農用地利用集積計画の承認について (所有権移転)
第 8	議案第 1 3 4 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・認定農業者)
第 9	議案第 1 3 5 号	農業委員会事務局職員の異動に伴う任免の取扱いについて

会 長

それでは、只今から、第 2 1 回農業委員会総会を開催致します。本日は、6 番委員から欠席届の提出がありましたので、出席委員は 2 0 名でございます。

議事録署名委員の指名

会 長

本総会での議事録署名委員の指名をいたします。

議事録署名委員は、3 番 安田 敬司 委員、2 2 番 岩下 哲見 委員にお願いします。

報告：非農地証明書の返上報告について

会 長

ただちに、議案審議に入ります。

まず、報告、議案第 3 1 号で審議した非農地証明の返上がありましたので、事務局より説明させます。

事務局

平成 2 6 年 1 1 月 2 8 日付申農委発 4 3 5 号にて、非農地証明を発行した土地について、平成 2 8 年 2 月 1 0 日付で返上願書の提出があり、受理いたしました。返上の理由につきましては、申請地は狭小で農機具等の乗り入れも困難であり、申請人が市外居住で耕作・管理できないことから非農地証明発行後に隣接居住者が管理していく計画でありましたが、地目変更登記の手続きに入る前に隣接居住者が体調を崩し管理していくことが不可能になりました。今回、申請地に隣接する農地の買い手が見つかり、申請地と一体的に農地として売却する協議ができたため、非農地証明返上に至りました。また、返上された申請地については、今回の議案第 1 2 9 号受付番号 1 番で申請されていることを申し添えます。以上でございます。

報告：農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について

会 長

次に、農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について事務局より報告させます。

事務局

農地法第 1 8 条第 6 項の規定による合意解約について報告いたします。

今回の合意解約は 1 件でございます。内容といたしましては、賃貸人からの申し出が、解約の理由となっております。お目通しいただきたいと思います。以上でございます。

会 長

報告はお聞きのとおりであります。

議案第 1 2 9 号：農地法第 3 条の規定による許可申請について

会 長

次に、議案第 1 2 9 号は、農地法第 3 条の規定による許可申請について、であります。
それでは、議案第 1 2 9 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 1 2 9 号、農地法第 3 条の規定による許可申請は受付番号 1 番から 3 番の所有権移転に関する 3 件であります。事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第 3 条第 2 項各号の不許可の事由につきましては、

「第 1 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

「第 3 号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第 4 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合

「第 5 号」 権利取得を含めた経営農地が、5 0 アールに達しない場合

「第 6 号」 今回の申請農地を、転貸しようとする場合

「第 7 号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合、

であり、今回の許可申請受付番号 1 番から 3 番の 3 件については、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしくお願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号 1 番と 2 番の 2 件の説明をお願いします。

5 番

議案第 1 2 9 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号 1 番と 2 番の所有権移転に関する 2 件であります。受付番号 1 番と 2 番につきましては、受人が同一者であり、申請地が隣接しておりますのであわせて報告いたします。

5 番

まず、受付番号 1 番につきましては、受人の要望により渡人が応諾したものであり、受付番号 2 番につきましては、渡人が高齢病弱で管理できない為、受人と売買するものです。受人は、申請地に食用甘藷を作付し、規模拡大を図られるものです。受人世帯においては、水稻と食用甘藷を毎年約 4.7ha の農地に作付し、農業従事状況については、本人が 130 日以上に従事があり、母が 90 日、妻が 30 日、長男が 60 日、臨時雇用者 2 名の従事がある為、機械保有・労働力・技術面については問題なく、効率的な農業経営を行っていき考えます。尚、農薬の使用方法については、地域の防除基準を遵守し、水利調整にも参加し取り決めを守っていくとのことである為、周辺農地への影響を与えることはないと考えます。以上、福島地区委員会において、受付番号 1 番と 2 番の所有権移転の 2 件を慎重審議してまいりましたが、農地法第 3 条の許可要件を満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしくお願ひします。

会 長

次に、大東地区委員会より、受付番号 3 番の 1 件の説明をお願いします。

1 3 番

議案第 129 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号 3 番の所有権移転に関する 1 件であります。受付番号 3 番につきましては、申請地の隣接地を所有する受人が耕作利便のため渡人と売買し、申請地に植栽している栗の木を伐採後、所有地とともに食用甘藷を作付する計画であります。受人世帯においては、毎年、110a 以上の食用甘藷を作付し、受人世帯の農業従事状況においても、本人が 200 日以上に従事日数があり、妻の従事もある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていき考えます。尚、周辺農地も食用甘藷の作付である為、農薬散布・水利調整等の影響はなく、問題ありません。以上、大東地区委員会において、受付番号 3 番の所有権移転に関する 1 件を慎重審議してまいりましたが、農地法第 3 条の許可要件を満たしており何も問題ありませんので、ご審議方よろしくお願ひします。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今から、議案第 129 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件について、質疑に入ります。質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 129 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 1 2 9 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件については、許可することに決定します。

会 長

議案第 1 3 0 号：農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について

次に、議案第 1 3 0 号は、農地法第 4 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第 1 3 0 号、受付番号 1 番の 1 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 1 3 0 号、農地法第 4 条の規定による許可申請は受付番号 1 番の 1 件であります。農地法第 4 条第 2 項

「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実に認められない場合

「4 号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号 1 番の 1 件についての申請地農地区分は、農地法第 4 条第 2 項第 1 号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第 2 種農地」に区分されますので、農地法第 4 条第 2 項 1 号ロには該当しておりません。したがって、事務局により申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号 1 番の 1 件につきましては、農地法第 4 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件の全てを満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。
只今の説明に関連して、関係地区委員会から調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

会 長

それでは、都井地区委員会より受付番号 1 番の 1 件の説明をお願いします。

20 番

議案第 130 号、農地法第 4 条の規定による許可申請について、都井地区は受付番号 1 番の 1 件です。受付番号 1 番については、現在居住している住宅は老朽化により、居住していくには適さなくなってきたため、隣接地の申請地に住宅を新築するものです。申請地の北側、東側、西側は市道が通り、南側は住宅で周囲に農地は無く、汚水・生活排水は浄化槽を通じて、市道の排水溝へ流す計画であり、何等問題ないと考えます。又、既存住宅は農業用倉庫及び休憩所として有効利用されとのことであります。以上、都井地区委員会において、受付番号 1 番の 1 件を慎重審議してきましたが、農地法第 4 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。
これより、議案第 130 号、受付番号 1 番の 1 件について質疑に入ります。質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 130 号、受付番号 1 番の 1 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 130 号、受付番号 1 番の 1 件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

議案第 131 号：農地法第 5 条の規定による事業計画変更に対する意見について

会 長

次に、議案第 131 号、農地法第 5 条の規定による許可後の事業計画変更申請に対する意見について、であります。それでは、議案第 131 号、受付番号 1 番の 1 件を議題といたします。まず、事務局からの説明を求めます。

事務局

議案第131号、農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更申請は受付番号1番の1件であります。受付番号1番につきましては、被承継者はアパートに居住していたため個人住宅を建設する計画であったが、工事着工する前に、勤めていた会社の経営状態が悪化し、倒産したため住宅建設を断念しておりました。今回、理容所に勤務している承継者が個人で開業するにあたり、理容所兼個人住宅として事業計画を変更するものであります。「農地法関係事務処理要領」により、許可目的を達成することが困難と認められる事案につき、農地法第51条第1項の規定による許可の取消し等の処分が困難又は不相当と認められる場合には、転用事業者が許可目的を変更するときに、事業計画変更を行わせ、次の承認要件のすべてに該当するときには、これを承認することができるとなっております。

その事業計画変更の承認該当要件につきましては、

- a. 許可の取り消し処分を行っても、その土地が旧所有者によって農地として効率的に利用されるとは認められないこと。
- b. 許可目的の達成が困難になったことが転用事業者の故意又は重大な過失によるものでないと認められること。
- c. 変更後の転用事業が変更前の転用事業に比べて、それと同程度又はそれ以上の緊急性及び必要性があると認められること。
- d. 変更後の転用事業がその事業計画に従って実施されることが確実であると認められること。
- e. 変更後の転用事業により周辺の地域における農業等に及ぼす影響が、変更前の転用事業による影響に比べてそれと同程度又はそれ以下であると認められること。
- f. a から e までに掲げるもののほか、変更後の転用事業が農地転用許可基準により許可相当であると認められるものであること。

であり、事務局によります申請書類の審査において、今回の受付番号1番の1件につきましては、事業計画変更承認の該当要件を全て満たしていると思われまます。皆様のご審議をお願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より受付番号1番の1件の説明をお願いします。

5 番

議案第131号、農地法第5条の規定による許可後の事業計画変更申請について、福島地区は受付番号1番の1件でございます。申請人に確認したところ、被承継者は、許可後、申請地を造成し、周囲をブロック積みした状態で、会社倒産を理由に住宅建設を断念しており、承継者も理容所開業に伴い宅地として利用するもので、

5 番

今回の事業計画変更の内容については間違いないとのことでありました。又、旧所有者は高齢で申請地を農地として効率的に利用することはできません。以上、福島地区委員会において、受付番号 1 番の 1 件を慎重審議してまいりましたが、事業計画変更承認の該当要件を全て満たしており、何も問題ありません。ご審議方お願い致します。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第 1 3 1 号について質疑に入ります。質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 1 3 1 号、受付番号 1 番の 1 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 1 3 1 号、受付番号 1 番の 1 件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

議案第 1 3 2 号：農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に、議案第 1 3 2 号は、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第 1 3 2 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 1 3 2 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は受付番号 1 番から 4 番の所有権移転に関する 4 件であります。農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

事務局

「3号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合

「4号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号1番の1件の申請地農地区分は、農地法第5条第2項1号イにあります、農用地域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内、又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法 第8条第1項第1号に規定されている、主として低層住宅に係る良好な住居の環境を保護するため定める地域「第二種低層住居専用地域」に該当し、「第3種農地」に区分されますので、農地法第5条第2項1号ロにも該当しておりません。次に、受付番号2番から4番の3件の申請地農地区分は、農地法第5条第2項第1号イにあります、農用地域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第2種農地」に区分されますので、農地法第5条第2項1号ロには該当しておりません。したがって、事務局により申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番から4番の4件につきましては、許可要件を全て満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より、受付番号1番から3番の3件の説明をお願いします。

5 番

議案第132号、農地法第5条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番から3番の3件であります。まず、受付番号1番につきましては、受人は志布志市の理容所で働いているが、個人で理容所を開業するに当たり、今回申請されたものです。周囲の東側は里道、北側は宅地、西側は市道、南側は畑であり、土砂流失防止のため既にブロック塀が設置されてあります。又、排水は浄化槽を通じて、市道の側溝へ流す計画であり問題ありません。次に、受付番号2番と3番につきましては、受人及び転用目的が同じでありますのであわせて報告します。受人は市内に貸家を所有しているが、需要が高く、申請地は市の中心部で立地条件も良

5 番

いため、アパートを建設するものです。道路側以外の境界にはブロックを積むので、周囲に土砂流失等による被害を与える恐れはなく、生活雑排水も合併浄化槽を通じて側溝に流す計画であり問題ありません。以上、福島地区委員会において、受付番号 1 番から 3 番の 3 件を慎重審議してきましたが、農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会 長

次に、都井地区委員会より、受付番号 4 番の 1 件の説明をお願いします。

2 0 番

議案第 1 3 2 号、農地法第 5 条の規定による許可申請について、都井地区は受付番号 4 番の 1 件であります。申請地は周囲を山林に囲まれ、鳥獣害で耕作できない為、受人が山林として管理していくものです。周辺一帯は、申請地と同じく山林である為、何等問題ありません。以上、都井地区委員会において、受付番号 4 番の 1 件を慎重審議してきましたが、農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。

これより、議案第 1 3 2 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 1 3 2 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 1 3 2 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案

会 長

次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、であります。審議に入ります前にあらかじめ、市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。

事務局

平成２８年２月分につきましては、串間市長より平成２８年２月１６日付で、農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定による農用地利用集積計画の決定が求められております。
内容につきましては、議案第１３３号・所有権移転が７件・面積が６，４９１㎡、議案第１３４号・受人が認定農業者である利用権設定が３件・面積が６，２８２㎡であります。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。
それでは、只今から市からの提案について、審議に入ります。

議案第１３３号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転

会 長

議案第１３３号は、農用地利用集積計画の所有権移転の承認について、であります。
それでは、議案第１３３号、受付番号１番から７番の７件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第１３３号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は、受付番号１番から７番の７件であります。この７件について、説明いたします。「農用地利用集積計画の承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項、
第１号） 今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること。
第２号） イ 耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること。
第２号） ロ 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること。
であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番から７番の７件については、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。
又、受付番号３番の渡人については、成年後見人での申請となっております。農地所有者である成年被後見人の判断能力が不十分であるため、宮崎家庭裁判所より平成１６年６月に妹が成年後見人に選任されており問題ありません。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号１番と２番の２件の説明をお願いします。

５ 番

議案第１３３号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号１番と２番の２件であります。この２件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号１番と２番の２件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

次に、大東地区委員会より、受付番号３番から５番の３件の説明をお願いします。

１３ 番

議案第１３３号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、大東地区は受付番号３番から５番の３件であります。この３件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、大東地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号３番から５番の３件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

次に、本城地区委員会より、受付番号６番と７番の２件の説明をお願いします。

１７ 番

議案第１３３号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、本城地区は受付番号６番と７番の２件であります。この２件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事が

17番 あることなどの該当要件を、大東地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号6番と7番の2件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長 説明は、お聞きのとおりであります。
これより、議案第133号、受付番号1番から7番の7件について、質疑に入ります。
質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長 ないようでございますので、議案第133号、受付番号1番から7番の7件を決定してよろしいでしょうか。
(異議なしの声)

会 長 異議なしということでありますので、議案第133号、受付番号1番から7番の7件について、決定して市へ通知します。

議案第134号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・認定農業者分

会 長 次に、議案第134号は、農用地利用集積計画の利用権設定・認定農業者分について、であります。
それでは、議案第134号、受付番号1番から3番の3件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局 議案第134号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分であります。今回の譲受人が認定農業者分につきましては、受付番号1番から3番の3件であります。この3件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号1番から3番の3件につきましては、議案第133号で説明いたしました、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の該当要件をすべて満たしていると思われます。
皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号 1 番から 3 番の 3 件をお願いします。

1 2 番

議案第 1 3 4 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分、福島地区は受付番号 1 番から 3 番の 3 件であります。この 3 件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番から 3 番の 3 件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第 1 3 4 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件について、質疑に入ります。
質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案第 1 3 4 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、議案第 1 3 4 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件について、決定して市へ通知します。

議案第 1 3 5 号：農業委員会事務局職員の異動に伴う任免の取り扱いについて

会 長

次に、議案第 1 3 5 号は、農業委員会事務局職員の異動に伴う任免の取り扱いについて、でございます。
まず、事務局からの説明を求めます。

事務局

議案第 1 3 5 号、農業委員会事務局職員の異動に伴う任免の取扱について説明いたします。

事務局

まず、今回の提案理由でございますが、農業委員会事務局職員の任免につきましては、農業委員会等に関する法律第20条第3項の規定により、農業委員会が任免することになっております。しかしながら、市当局との日程の都合上、臨時総会を開催しての任免および辞令交付を農業委員会として行うことに無理があるため、今回、農業委員会事務局職員の異動協議がある場合には、これを会長の方に一任していただきたいという提案でございます。次に、内容といたしましては、事務局職員の任免期間を平成28年3月1日から平成29年2月28日の1年間とし、事後会長が総会で報告するというところをご提案いたします。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。
只今から議案第135号について質疑に入ります。質疑はありますか。

（ なしの声 ）

会 長

ないようですので、決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということでありますので、議案第135号は、承認することに決定しました。

会 長

以上で、先に送付いたしました議案の審議は全部終了いたしました。
慎重・審議、誠にありがとうございました。